

Louis / LGW-05

Digital Wireless Transmitter & Receiver

取扱説明書

この度は Louis LGW-05 をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。
製品の機能を十分に ご活用いただくため、ご使用前に必ず本取扱説明書
をお読みいただいた上、大切に保管してください。

島村楽器株式会社

〒132-0035 東京都江戸川区平井 6-37-3
www.shimamura.co.jp

安全上のご注意

⚠ 警告

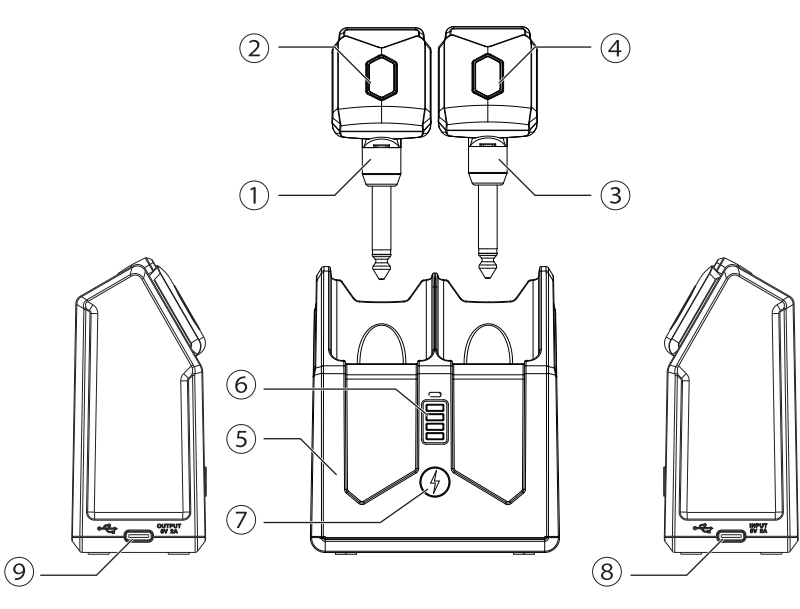
この注意事項を無視した取扱をすると、重大な事故を引き起こす可能性が予測されます。

- 次のような場合は直ちに電源を切ってください。
 - ・ 異物が内部に入ったとき
 - ・ 製品に異常や故障が生じたとき
- 修理が必要な時は、お買い上げの販売、最寄りの販売店へ修理を依頼してください。
- 本製品を分解したり改造したりしない。
- 修理 / 部品交換などで、取扱説明書に書かれている以外のことは絶対にしない。
- 本製品に異物（燃えやすいもの、針金など）を入れない。
- 温度が極端に高い場所（直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、発熱する器具の上など）での使用や保管をしない。
- 振動の多い場所での使用や保管はしない。
- ホコリの多い場所での使用や保管はしない。
- 雨天時の野外など湿気の多い場所での使用や保管はしない。
- 本製品の近くに液体の入った物（水や薬品など）を置かない。
- 濡れた手で本製品を使用しない。

⚠ 注意

- トランスミッター・レシーバーを抜き差しする際は接続機器のボリュームを0にし、電源を切った状態で行ってください。
- ラジオ、テレビ、電子機器などから十分に離れてご利用ください。電波を発する機器などに接近して使用すると、本製品が雑音を受けて誤動作する場合があります。
- 外装のお手入れは乾いた布を使って軽く拭いてください。
- スイッチや各種端子に必要な以上の力を加えないでください。
- 外装のお手入れにベンジンやシンナー系の液体、コンパウンド、可燃性のポリッシャーは使用しないでください。
- 本製品の充電にはUSB Type-C (5V)の充電器(別売)をご使用ください。また、充電完了後には充電器を外してください。

各部の名称と働き



- ① トランスミッター
ギターに接続するトランスミッターです。背面に「TRANSMITTER」と印字されています。
ステーションの左右いずれかに挿し込むことで充電が開始されます。
- ② ボタン / インジケーター(トランスミッター側)
トランスミッターの操作や設定に使用するボタン / インジケーターです。
- ③ レシーバー
アンプ側に接続するレシーバーです。背面に「RECEIVER」と印字されています。
ステーションの左右いずれかに挿し込むことで充電が開始されます。
- ④ ボタン / インジケーター(レシーバー側)
レシーバーの操作や設定に使用するボタン / インジケーターです。
- ⑤ ステーション
トランスミッター / レシーバーを挿し込むことで充電ができます。
挿し込まれたトランスミッター / レシーバーは電源がOFFになります。
- ⑥ 充電インジケーター
ステーションのバッテリー残量を示すインジケーターです。
- ⑦ 充電ボタン
ステーションに挿し込まれたトランスミッター / レシーバーの充電の開始・停止を切り替えます。
- ⑧ USB Type-C インプット端子
ステーションを充電するための USB Type-C インプット端子です。
- ⑨ USB Type-C アウトプット端子
ステーションの内蔵バッテリーを使用して、外部の電子機器の充電など電源供給を行うための USB Type-C アウトプット端子です。(定格出力電圧5V、定格出力電流2A、最大出力10W)

充電方法

■ステーションの充電方法

図1のように⑧USB Type-C インプット端子にUSB Type-Cケーブル(付属)を接続して⑥ステーションの内蔵バッテリーの充電を行います。

充電器は、必ず5Vが出力されるものをご使用ください。

- ⑦充電ボタンを1回押すことで充電の開始ができ、⑥充電インジケーターにステーションの充電状態が4段階で表示されます。

※充電器と接続しても⑥ステーションの充電が開始されない場合は、使用された充電器がLGW-05に対応していない可能性があります。
また、電流量が多く出力される高容量タイプの充電器、特にUSB-C出力の充電器を使用すると、内部の安全回路が動き、充電が行われない場合があります。
この場合は充電器を別のものに変更してから再度充電をお試し下さい。

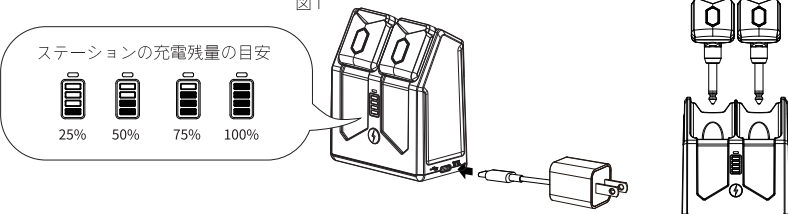
■トランスミッター / レシーバーの充電方法

トランスミッター / レシーバーのインジケーターが赤く点滅する場合は、バッテリー残量が少ないことを示していますので充電を行ってください。

図2の用に⑤ステーションにトランスミッター / レシーバーを挿し込むことで充電が開始されます。
⑤ステーションに挿し込まれたトランスミッター / レシーバーは自動的に電源がOFFになります。
左右どちらに挿し込んでも、どちらか片方だけ挿し込んでも充電は可能です。
充電は⑤ステーションに内蔵されているバッテリーから行われるため⑧USB Type-Cインプット端子にUSB Type-Cケーブルが接続されていない状態でもトランスミッター/レシーバーへの充電が可能です。

充電中はトランスミッター・レシーバーのインジケーターが赤く点灯し、充電が完了すると消灯します。
途中で充電を停止したい場合は⑦充電ボタンを2回押すことで充電を停止することができます。
充電を再開する時は⑦充電ボタンを1回押してください。

- ⑨USB Type-C アウトプット端子から電子機器に接続して充電や給電を行う場合、⑦充電ボタンを1回押して⑥充電インジケーターが点灯している状態にすることで給電が開始されます。
※接続する電子機器によっては充電が行えない場合があります



ステーションは約4時間でフル充電が可能です。
トランスミッター / レシーバーは約3時間で満充電が可能です。

ステーションの充電残量が100% (フル充電) の時、トランスミッターとレシーバーを約2回分フル充電することが可能です。

トランスミッター / レシーバーはフル充電で約5時間使用可能です。

* 充電時間と回数は充電器の出力(ワット数)、ケーブル、充電中の使用状況、バッテリーの状態などによって大きく異なります

使用方法

■接続時の注意事項

必ず手順通り、トランスミッターの電源をONにした後にレシーバーの電源をONにしてください。

※レシーバーからONにした場合、正しくトランスミッター接続できない場合があります。

※強い電波干渉・伝送距離の超過により接続がされない場合インジケーターが青色で点滅します。

このような場合、レシーバーの電源を切り(ボタンを2秒以上長押し、もしくはステーションに挿し込む)改めて正しい手順で接続を行ってください。

■接続方法

- ①ギター本体のボリュームを0にします。
- ②トランスミッターをステーションから取り出し、ギターのアウトプットジャックに挿し込みます。
- ③ボタンを2秒間長押しするとトランスミッターの電源がONになり、インジケーターが青色→ピンク色→青色と点灯します。
- ④アンプのボリュームを0にします。
- ⑤レシーバーをステーションから取り出し、アンプのインプットジャックに挿し込みます。
- ⑥ボタンを2秒間長押しするとレシーバーの電源がONになり、インジケーターが青色→ピンク色→青色と点灯し、トランスミッターとの接続が完了します。
- ⑦ギターとアンプの音量を調整して使用します。

■同じ場所で複数台(最大4台)のLGW-05を使用する場合

チャンネルバンク(以下、CHバンク)がCH1~4まで選択できます。
使用するLGW-05が混線しないよう、トランスミッターと他のLGW-05とは2m以上の距離を取り、それぞれ違うCHバンクを選択して使用してください。

【CHバンクの確認方法】

- ①トランスミッターとレシーバーの電源がONで接続されている状態にします。
- ②レシーバーのボタンを1回押すとインジケーターが赤色点滅します。
- ③1回点滅=CH1、2回点滅=CH2...と点滅回数でCHバンクの確認が可能です。

【CHバンクの切り替え方法】

- ①トランスミッターとレシーバーの電源がONで接続されている状態にします。
- ②トランスミッターのボタンを1回押すとCHバンクが切り替わります。

例: 現在CHバンクがCH1の場合
トランスミッターのボタンを1回押すとトランスミッターのインジケーターが赤く2回点滅→青点灯
CHバンクがCH1からCH2に切り替わりました。

※トランスミッターでCHバンクの切り替え操作を行うと、接続されているレシーバーのCHバンクも同時に自動で切り替わります。

- ③CHバンクはトランスミッターのボタンを押す毎にCH1→CH2→CH3→CH4→CH1...と順に切り替わります。

■トランスミッターとレシーバーの接続ができなくなった場合の再設定方法

LGW-05は出荷時にトランスミッターとレシーバーは接続されているように設定されていますが、何らかの理由で接続ができなくなった場合は、下記手順で再設定を行ってください。

- ①トランスミッターとレシーバーの電源をONの状態にします。
- ②レシーバーのボタンを2回押すと、ペアリングモードに切り替わり、インジケーターが青色⇄赤色で点灯を繰り返します。
- ③次にトランスミッターのボタンを2回押します。
- ④トランスミッターのインジケーターが青色⇄赤色で点灯を繰り返すと同時に、レシーバーが自動で接続処理を開始し、レシーバーのインジケーターが青色に点滅します。
- ⑤接続が完了するまでしばらく待ちます。
- ⑥トランスミッターとレシーバー両方のインジケーターが青点灯に切り替われば再接続完了です。

LGW-05 を使用する上での注意

・本機器は2.4GHz無線データ通信技術を使用した製品です。
同種の技術を使用した機器が近くにある状態で使用すると、電波の干渉が起こることがあります。
干渉を防ぐため、無線ルーターなどのワイヤレス機器から3m以上の距離を取って使用してください。

・本機器は最大4セットまで同一の場所でも使用できます。

使用状況によっては混線を起こす可能性がありますので、トランスミッターと別のレシーバーとは2m以上の距離を取って使用してください。

・トランスミッターとレシーバーの間に障害物がある場合、伝送距離に影響が出ることがあります。

・トランスミッターとレシーバーの距離が近すぎる場合、ハウリングやノイズが生じることがあります。
この場合は十分な距離を保った状態で使用してください。

・使用していない時はトランスミッターとレシーバーの電源を切ってください

・リチウム電池の特性上、使用していなくてもわずかな自己放電が発生します。
また、放電が進み電圧下がると保護回路が作動し充電や機器の使用ができなくなることがあります。
使用しない状況が続く場合でも2ヶ月に1度は充電を行い、高温・低温下での長期保管は避けてください。

・バッテリー駆動によるブリアンプ内蔵の楽器(例: アクティブサーキットを内蔵するエレキギター・エレキベース、エレクトリックアコースティックギターなど)を本機器を組み合わせて使用するとノイズが発生場合があります。該当する楽器の場合は正常にご使用出来ない場合がありますので予めご了承のほどお願いいたします。

製品仕様

サンプリング周波数/量子化ビット数: 48kHz/24ビット
レイテンシー: 6ms未満
周波数特性: 10Hz~22kHz(+1dB/-1dB)
全周調波歪率: 0.02%以下(1kHz、-10dBFS時)
伝送範囲: 見通し20m(使用環境により変動)
使用周波数帯域: 2.4GHz ISMバンド
通信方式: 周波数ホッピング方式
チャンネル数: 4
トランスミッター/レシーバー電源: 内蔵充電式リチウムイオン電池(3.7V/500mAh)
トランスミッター/レシーバー連続使用時間: 約5時間(フル充電時)
ステーション電源: 内蔵充電式リチウムイオン電池(3.7V/5800mAh)
外形寸法: 84(幅)×100(奥行)×46(高さ)mm
付属品: 保証書、USBケーブル

※製品の仕様は品質向上のため予告無く変更する場合があります。

※充電時間/バッテリー持続時間は使用状況によって左右されることがあります。

※取扱説明書は、PDFファイルのみでご提供となります。

紙の取扱説明書は提供しておりませんのでご了承ください。